



mic21(株)

スクーバダイビング業界のトップ企業

【TDB企業コード：984705114】 法人番号：1010401028316

mic21(株)(エムアイシーニジュウイチ)は、スクーバダイビングの総合専門店「mic21」を国内16カ所に設け、オンラインショップも展開する。ダイビングギアを主体としたマリンスポーツ用品、関連用品、ウェアなどの商品点数は10万点以上、総売場面積は約1363坪とダイビング業界では日本一の規模を有している。

今回は、平本哲也執行役員に日本一大きい横浜本店を案内してもらいながら、スクーバダイビングの魅力と、ダイビングショップでは世界でも最大規模の売上高を挙げるに至った道のりを聞いた。

一売場面積・商品点数・顧客数日本一

横浜関内・大通り公園沿いにある横浜本店の間口は決して広くない。しかし、店内に入ると動線が3列続き、奥が見えないほど長い。食品スーパーと同じようにカートを引きながら進んでいけば、見やすく展示されたカラフルなマスクやスノーケル、フィン、グローブやブーツなどダイビング用の軽器材。浮力を調整するBCDにレギュレーター、ゲージ。水中カメラにライト、ダイブコンピュータ、各種ウェットスーツ。ウエイクボードに水着まで、おびただしい数のマリ用品が冬場でもこれでもかと陳列されている。過去にダイビングのライセンスを取り損なったビギナーとしては目移りして何をどう選べばいいのか迷ってしまう。

頼りになるのはインストラクターの資格を有し、水中カメラなどの専門知識も持つ販売スタッフのアドバイスです。「ダイビングは商品の組み合わせが大事ですが当社のスタッフはただの売り子ではありません。お客様のニーズを満たす提案力が冴抜けていますので、満足感をもって購入していただいています」(平本氏)。それだけでなく当社の店舗スタッフはおしなべて人好き、人垂らしだそうで、初来店客とスタッフが閉店後にお酒を酌み交わすことが日常的に行われ、ツアーの随行や講習会、合宿を共にし、さらに親交を深めている。店内の奥行きはあるが、客との距離は近い店なのだ。



最新設備と知識豊富なスタッフが揃う池袋店

ーリア充がネットの売り上げを超える

“出会いと感動を提供する”という理念のもと、店舗の内外装や造作、陳列台や設備の改修・改善などハード面の資金投下を絶やさな



リニューアルを終えた日本最大級の梅田店

一方で、ソフト面にも力を注いでいる。25年前、第1号店の品川店にPOSシステムを導入したのを機に会員カードを発行。早くから顧客情報を分析し、効果的なDMで会員が会員を呼ぶようになった。近年は、無料会員誌「ダイビングギアマガジン」を定期発行し、ダイバーによるダイバーのために考え尽くされた宿泊施設がオープンするなど、スタッフのみならず顧客同士がつながり、楽しんでくれる環境を築きあげた。こうしたことが小売業のメイン販売チャネルになりつつあるECサイト(オンラインショップ、モール)部門を実店舗による対面販売の売り上げを上回り、約100万人といわれる国内ダイビング人口の3割強にあたる約35万人の会員顧客を獲得していることにつながっている。

一経営者と従業員が同じ感動を共有

会員には企業経営者が多く名を連ねており、自社の福利厚生の一環として従業員10名、20名単位で当社が主催する団体講習会やツアーに参加している。「スクーバダイビングは体験したらはまります。従業員に自分と同じ体験をさせたいと申し込んでくる社長が多いですね」と平本氏。スタッフによく口にするのは、『スクーバダイビングはどっちがうまいとか勝ち負けを争うスポーツではない。海の中では老若男女誰でも宇宙旅行をしているような無重力感覚を楽しむことができる。息のできない非日常の世界で人と競わず、同じものをみて同じ楽しみ、同じ感動を味わえる』。“出会いと感動”を共有することが最大の魅力なのだ。

mic21株式会社

本社 横浜市中区万代町2-4-1

代表者 平山 衛 氏

電話番号 045-227-6670

設立 1973年(昭和48年)12月

営業種目 ダイビング器材の販売、講習会開催、ダイビングツアー・旅行の企画随行、宿泊所経営